

自然と文化科 西堤小学校出前学習会 活動記録

	2017年10月3日(火) 10:00~12:30 曇り	担当者
場所	東大阪市東豊浦町 12-12 枚岡公園	文 : 西村彦二 写真 : 松堂忠義
備考	東大阪市立西堤小学校 : 2年生 89名、先生 6名 東大阪市都市整備部緑景観課(山地保全協議会) 3名 ライオンズクラブ 1名 自然と文化科 : リーダー 9名、スタッフ 4名	

昨年に引き続き東大阪市山地保全協議会主催の小学校低学年の出前学習会を実施した。今回から研究部門で立ち上げた「小学校自然ふれあい教室」が5校全部を受託し、自然と文化科の登録スタッフがその中の西堤小学校を担当した。基本的なメニューは全校共通としたが、運用等の細部は担当する研究科に任された。実施要領は、以下のとおり。

1. スケジュール

9:30: リーダー・スタッフ集合・準備

10:00: 集合 枚岡神社参道広場

挨拶: 小学校

山地保全協議会

説明: シニア自然大学校 自然と文化科

10:15: 自然観察スタート 公園内観察コースを9班に分かれて順次スタート

11:30: 自然観察終了 グリーンガーデンひらおかへ移動

11:45: 自然工作スタート

12:20: 自然工作終了

総評: シニア自然大学校 自然と文化科

挨拶: 小学校代表

山地保全協議会

12:30: 解散 解散後 リーダー・スタッフ全員で後片付け

2. 学習内容

出前学習会のテーマ:「森と遊ぼう」

自然観察 : 色んな葉っぱを集める

ジョロウグモの生態を観察する

葉っぱの匂いを嗅いでみる

ヒツキムシの構造を観察する

カエデのプロペラ(翼果)を遠くへ飛ばす

クロガネモチの葉っぱに文字を書く

カタバミで10円玉を磨く

最後に今日の観察を振り返る

自然工作 : ドングリを使ってドングリ坊やを作る

3. 実施状況と反省点

集合時点では小雨模様であったが、スタート後は雨も上がった。予定より20分程度時間オーバーしたが無事に全てのメニューを終了した。89名の生徒を9班(9~11名/班)に分けて、各班にリーダー1名を配置。生徒の1名を班長になってもらい、人数確認などの役割を担ってもらった。

自然観察では、生徒は「色んな葉っぱを集める」ことが一番楽しかったようで、いきいきしていた。ただ、多くの生徒が一度にリーダーのところへ拾った葉っぱを持ってくるので、シートの指定項目に合っているか確認してセロテープを切って渡す作業が大変で時間もかかった。また、雨上がりで葉っぱが濡れておりセロテープがひつつきににくいことも影響した。

葉っぱを貼る時に「なぜ黄色くなるのかな？」などの質問をするのも有効だったと思う。

紅葉には早いため、赤や黄色の落葉が少なかったのが残念であった。匂いを嗅ぐ葉や見つけにくい葉は事前に準備しておくべきであった。

ゆるい坂道のコースで片側が崖、反対側が溝になっており、濡れた路面を生徒が走り回るので目が離せなかった。椋ヶ橋付近に車道を渡るところがあるが、山地保全協議会の人が交通誘導をしてくれたので助かった。

葉っぱ集めの他にヒツキムシ、プロペラ飛ばし、葉っぱに字を書く、10円玉磨きなど盛沢山のメニューがあり、予定の観察時間（正味1時間）ではとても消化できず、20分程度の遅れが生じた。

「葉っぱ集め」は、ただ集めるだけではなく触ってみる、匂いを嗅いでみるなどの体験をさせることが重要であり、その点に注力すればこのメニュー1つだけでも良かった。また、秋と言えども10月初旬という時期に合わせて、メニューの詳細を見直す必要があった。

自然工作では、ドングリ坊やを製作したが、生徒たちはボンドの扱い方に慣れていないので手間取っていたが、事前に難しい箇所を仕上げておいたので、ほとんどの生徒が時間内に完成させていた。

グリーンガーデンひらおか研修室にテーブル2台と椅子10脚のグループを9班分配置したが、通路部分が取れず狭くて動きづらかった。もう1室借りて2グループに分けた方が良かった。

全員への説明は騒音で声が届かないし生徒は聞いてくれないので、各班毎にリーダーが説明する方が良かった。

事前打ち合わせで小学校に大きな容器のボンドを持参して頂くことになっていたが、思ったより小さな容器だったので不足を心配したが、結果的にはなんとか足りた。「大きな容器」ではなく、〇〇mm容器と明確に数字で示すべきであった。

今回で2回目の小学校出前教室だが、小学校低学年の生徒の関心をこちらへ向けさせることの難しさを痛感した。（一部のリーダーは上手く出来ていた。）

最後に、「これまでの遠足の中で今回が一番楽しかった！」という生徒たちの感想に救われた。





